

黄熱

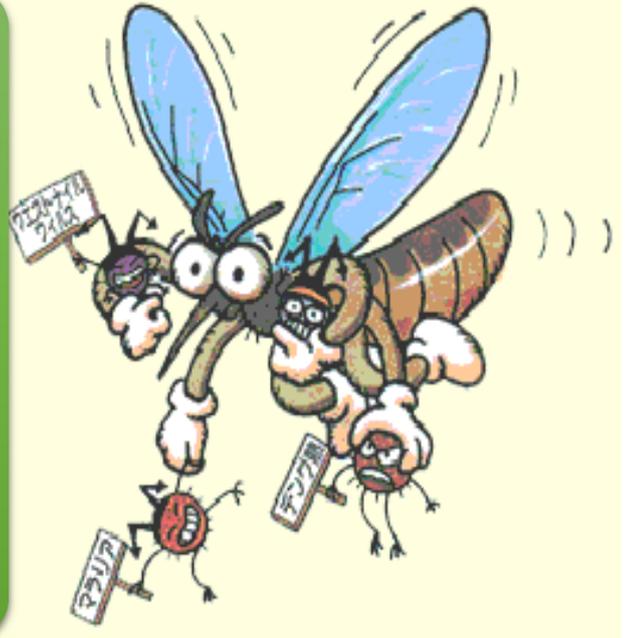
Yellow Fever

黄熱は、蚊から人へと感染することで発生します。

黄熱には都市型、森林型と都市型が混在した型がみられます。

有効な予防接種があるため旅行者が感染することは少なくなりましたが、各種の動物と蚊の間でサイクルが形成されているので、黄熱の撲滅は困難であると言われています。

海外ではアフリカ、中南米地域の国々を中心に依然として患者発生がみられますので、こうした地域への旅行者は予防接種を受けるなどの注意が必要です。



病原体

- 黄熱ウィルス フラビウイルスに属する



黄熱の流行地域

感染経路

- 黄熱ウィルスに感染したネッタイシマカ等の蚊に刺されることにより感染します。

潜伏期間

- 通常で3～6日



ネッタイシマカ



症状

- 突然の発熱・頭痛・めまい・筋肉痛・嘔吐・黄疸など。
死亡率は流行地の人の場合は5%以下ですが、**旅行者などでは50%以上になる**ことがあります。

予防法

- 1回の接種で生涯有効**という、非常に有効な予防接種があります。
- 黄熱の流行地域に旅行する際は、予防接種を受けることが最も有効な予防法です。
- 予防接種をしていない場合は、蚊に刺されないように特に注意する必要があります。
- 衣服は長袖、長ズボン（できれば白っぽい色の厚手）などで肌の露出を少なくする。
- 網戸、蚊帳を用いたり、昆虫忌避剤、殺虫剤、蚊取り線香などを使用する。
※殺虫剤等で、ガス式、ポンプ式の場合は機内への持ち込みの制限があります。

